

埼玉キワニスクラブ20周年記念
「MY ポエム（青春の詩）コンクール」表彰式 教育長挨拶

令和3年7月31日（土）
大宮ソニックシティ

本日ここに「MY ポエム（青春の詩）コンクール」表彰式が開催されますことに、心からお祝いを申し上げますとともに、本市の子どもたちの励みとなる素晴らしい機会をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

受賞者の皆さん、本日は誠におめでとうございます。詩の創作は、題材の捉え方や言葉の選び方などに、書き手のものの見方や感性が表れる芸術性の高い言語活動でございます。受賞された作品を拝見しますと、身近な生活の一場面を独自の視点で切り取り、自由な発想で素直に感情が表現されており、飛躍的に成長を遂げる子ども時代を過ごす皆さんの、瑞々しい感性の輝きを感じることが出来る素晴らしいものばかりでした。

本コンクールにその名を冠した賞が設けられている宮澤 章二（みやざわ しょうじ）様は、後世まで読み継がれる名作を数多く残されており、さいたま市立小・中学校21校の校歌を作詩されております。そのうち、今回の受賞者の所属校である宮前中学校の校歌には、「みがく青春 照る朝日 希望明るくたくましく」という一節がございます。皆さんが本コンクールを機会として、自分自身や社会を見つめ、様々な思いを詩として表現することを通して育んだ眩いばかりの感受性を胸に、青春時代を謳歌するとともに、今後も詩に親しんでくれることを大いに期待しています。

結びに、本コンクールの開催に御尽力されました埼玉キワニスクラブを始め、関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、御参会の皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、あいさついたします。

本日は誠におめでとうございます。